

第 6 回 村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議 会議録

日 時	令和 3 年 3 月 2 日（火）午後 3 時～午後 5 時 20 分
場 所	東海村役場 行政棟 205 会議室
出席者	・各村立幼稚園職員（7 名） ・村立保育所及びこども園職員（3 名） ・子育て支援課（4 名）
次 第	1. 開会 2. 子育て支援課長挨拶 3. グループワーク ①「教育・保育時間の拡充（預かり保育時間の拡大）について」 ②「転園に伴う園児や保護者への影響の緩和策について」 4. 閉会

1. 開会

2. 子育て支援課長挨拶

3. グループワーク

①「教育・保育時間の拡充（預かり保育時間の拡大）について」

- ・保護者アンケートでもニーズが高かった預かり保育時間の拡大について、現在の石神幼稚園や須和間幼稚園と同様、18 時まで拡大することを前提にグループワーク形式で意見出しを行い、多方面から検討を行った。
- ・グループワークで出された意見については、別添「第 6 回村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議意見出しのまとめ（①－1, ①－2）」のとおり。

②「転園に伴う園児や保護者への影響の緩和策について」

- ・村松幼稚園への転園に伴い、園児や保護者の環境の変化に伴う影響を少しでも緩和し、心理的不安の軽減を図る方法について、グループワーク形式で意見出しを行い、多方面から検討を行った。
- ・グループワークで出された意見については、別添「第 6 回村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議意見出しのまとめ②」のとおり。

<「村立幼稚園再編に向けた課題に対する考え方」について>

- ・現在実施している「村立幼稚園再編に向けた課題に対する考え方【1】」に対するご意見の募集についての進捗状況、及び「村立幼稚園再編に向けた課題に対する考え方【2】」の公表に向けた整理内容について説明した。それに対して挙げられた意見等については次の通り。

<意見等>

- ・現在、幼稚園で出しているお楽しみ弁当の残食状況を考慮すると、給食センターが整備できず園からのお楽しみ弁当のような形で昼食の提供をしていくことになるのであれば、今まで通り保護者の作

るお弁当を中心にしていこうが良いのではないかと思います。

- ・（前述に対し）しかし、保護者にとっては毎日のお弁当作りが負担となっていることから、何かしらの方法で昼食の提供をすることは考えなければならないのではと思う。
- ・単に何か昼食を出せば良いということではない。子ども達の様子を見ている教諭の立場からすると、子ども達が冷たい弁当を食べるのはかわいそうだと思ってしまう。
- ・自分の子どもが通っていた園でも、東日本大震災の翌年は、子どもの進級とあわせてクラスの先生を持ちあがりで配置してくれたため安心して登園できた。園が「大きな出来事の後で心配なことがあるだろうから」と配慮してくれたようだった。子どもの親としてはとても安心した。
- ・転園後、担任がその学年にいることは良いと思う。しかし、転園前の幼稚園のメンバーでクラスが固まりすぎてしまうと、（幼稚園対抗のような）ライバル心に繋がってしまう。学区が混在したクラスでも、隣のクラスで知っているお友達がいたりするので問題ないと思う。
- ・転園前の幼稚園に関係なく学区が混在したクラスのほうが良いと思うが、支援を要する子は環境の変化に敏感であるため、先生やクラスが変わると大変だと思う。そこは慎重に考えなければならない。

<まとめ>

- ・「村立幼稚園再編に向けた課題に対する考え方【2】」については、本日の議論を踏まえ整理していく。
- ・次回は、「村立幼稚園再編に向けた課題に対する考え方【1】」に対する意見を踏まえた協議とする。

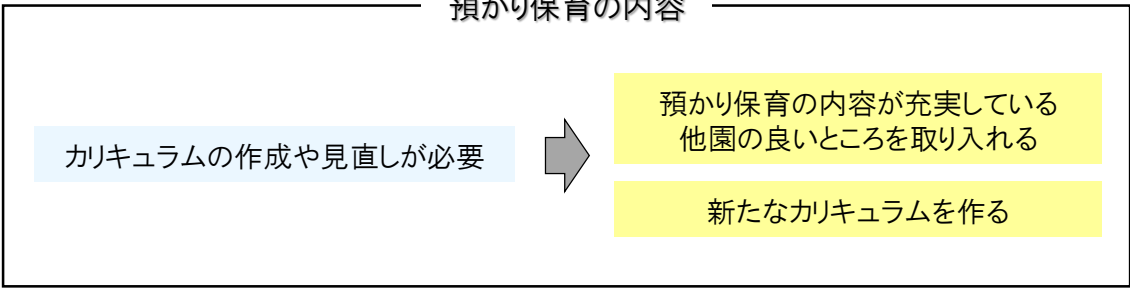
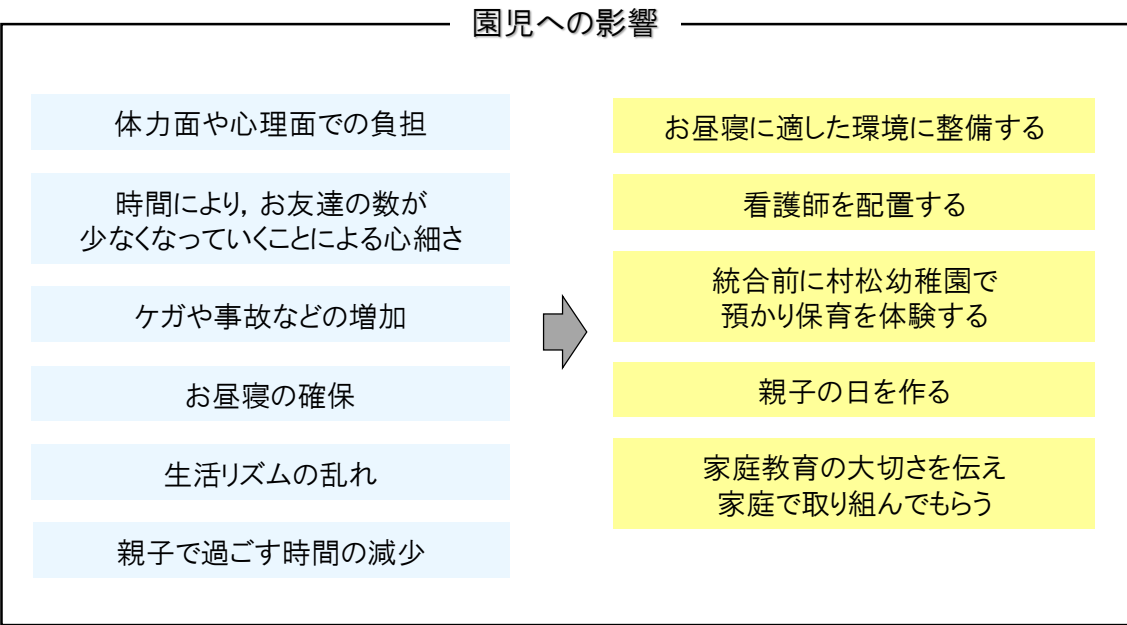
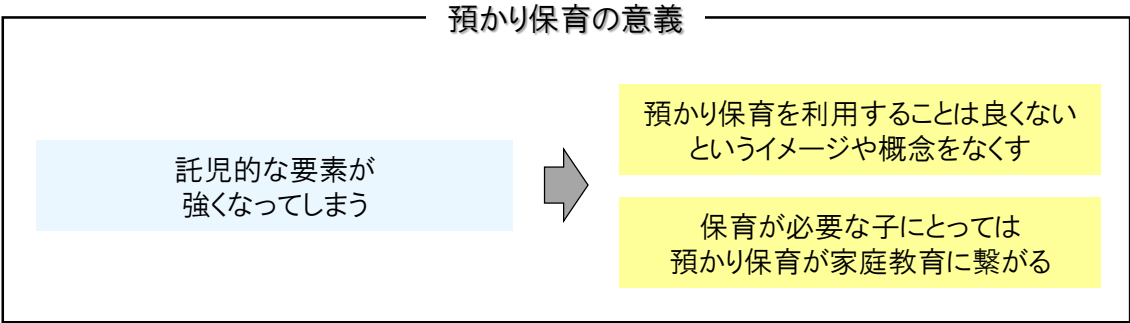
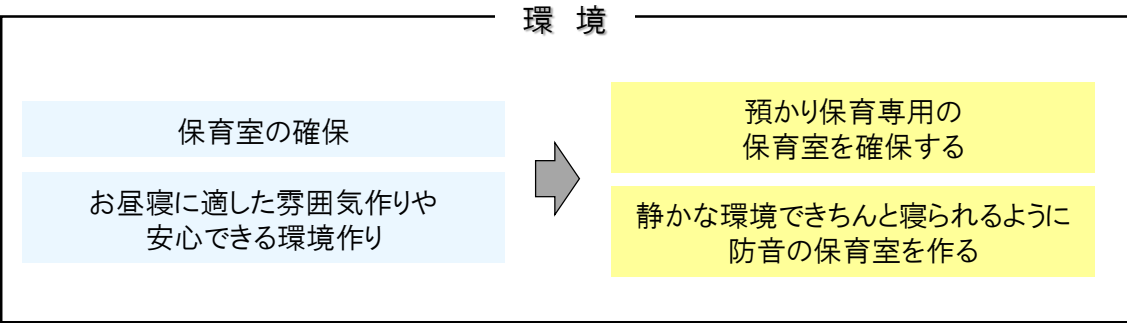
4. 閉会

テーマ：教育・保育時間の拡充
(預かり保育時間の拡大)について

預かり時間を18時までにした場合の課題

課題を解決するための工夫や方法

今後の方向性を判断するための材料として、実施の可否を問わず、多方面から検討を行ったものであり、決定事項ではありません。

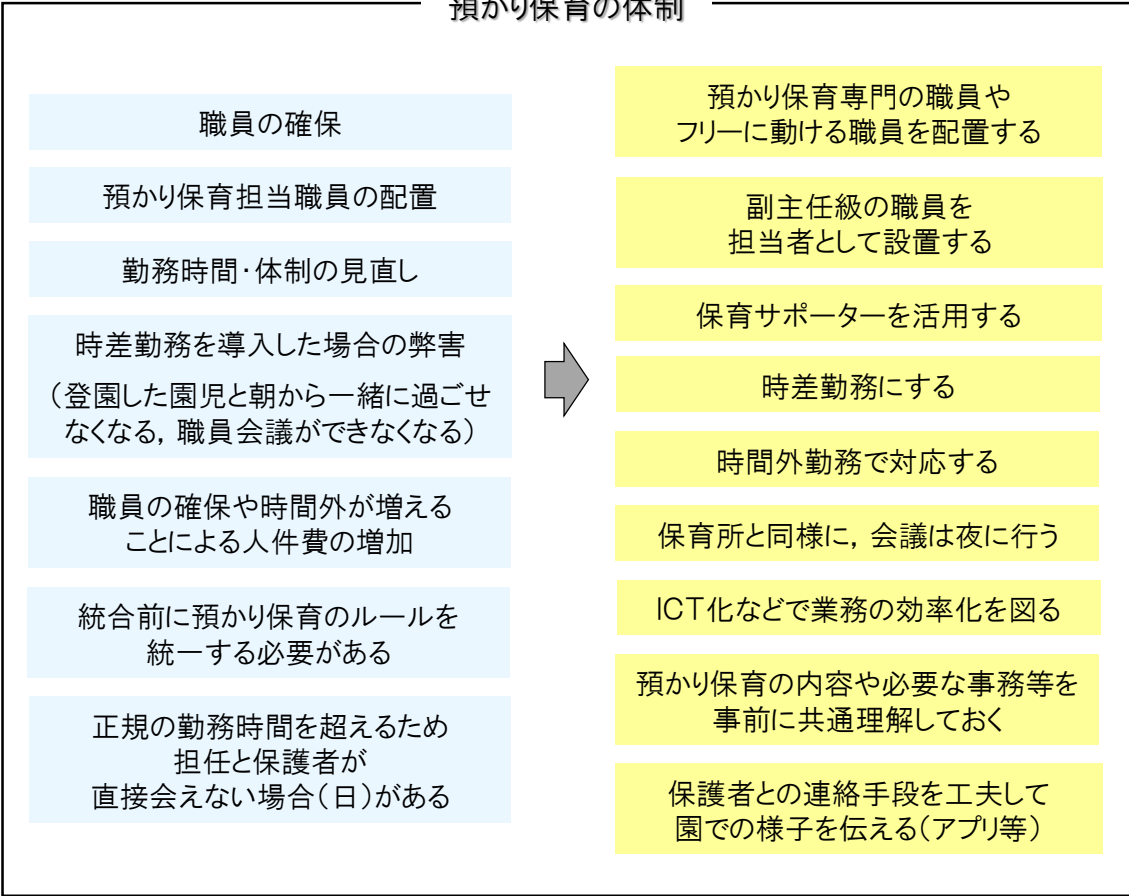
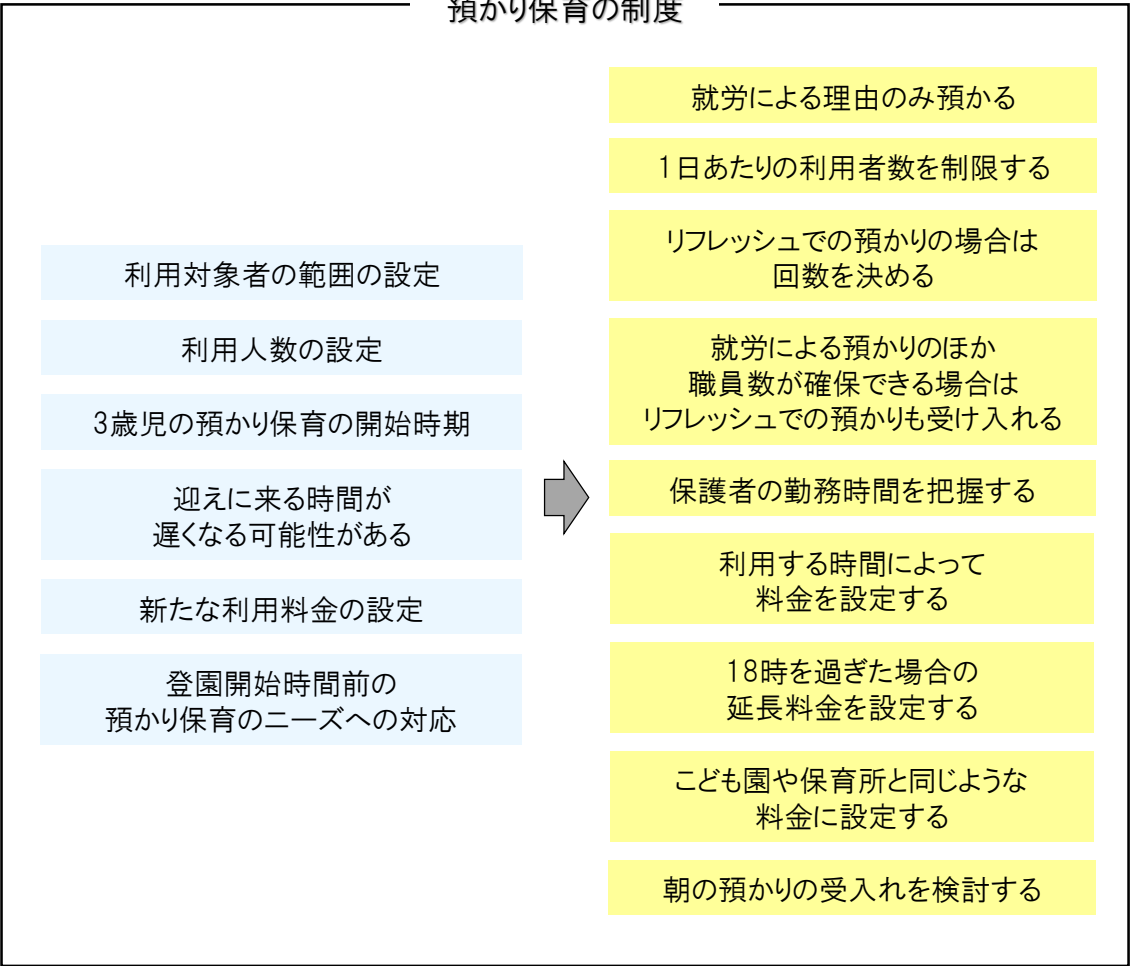


テーマ：教育・保育時間の拡充
(預かり保育時間の拡大)について

預かり時間を18時までにした場合の課題

課題を解決するための工夫や方法

今後の方向性を判断するための材料として、実施の可否を問わず、多方面から検討を行ったものであり、決定事項ではありません。



テーマ：転園に伴う園児や保護者への影響の緩和策について

転園前

転園後

転園前後

今後の方向性を判断するための材料として、実施の可否を問わず、多方面から検討を行ったものであり、決定事項ではありません。

園児

共通

保護者

各幼稚園の先生や子育て支援課職員は
村松幼稚園での生活を体験し、統合後のイメージをつかむ

子ども同士が
交流できる機会を作る

行事を合同開催する

村松幼稚園1日体験を
複数回・定期的に
実施する

村松幼稚園での
昼食の提供を早めに
開始して交流をする

転園後のクラスは
元の幼稚園ごとに
まとめるなど
クラス分けに配慮する

転園後のクラスは
元の幼稚園で固めず
色々なお友達と
関われるようにする

各幼稚園で行っていた
保育や行事などを取り入れる

仲良しペアを作る

元の園で使い慣れた
環境(園庭の築山など)や
おもちゃ、机、いすなども
一緒に移設する

ホームページやYouTube,
ドキュメンテーションなどを
活用し、村松幼稚園の
様子や先生を紹介する

先生たちから
村松幼稚園の様子や
雰囲気伝える

元の幼稚園の先生が
統合後も同じ園にいることを
早めに伝えて安心してもらう

複数学級に向けて
多様な人との関わりの
良さ・大切さを伝えていく

学年ごとの親子レクなどで
交流する機会を作る

各園の未就園児クラブを
村松幼稚園で実施する

村松幼稚園の園庭開放に
他園の園児も
参加できるようにする

ドキュメンテーション等で
園での様子をお知らせする
(子どもの成長の見える化)

村松幼稚園での
年間スケジュールや
保育目標をお知らせする

カウンセラー等による
相談体制を確保する

村松幼稚園で
教育・保育方針等について
事前説明会を開催したり
園の様子を見学・質問したり
できる機会を作る

定期的に村松幼稚園での
教育体験をして、園の雰囲気
だけでなく、周辺の環境や
通園時間の状況などを
見てもらう

村松幼稚園への
登園日を作り
保育参観を実施する

駐車場の使い方を
事前に説明・確認してもらう

保護者同士が
交流できる機会を
複数回作る

学区ごとに
悩みを打ち明け合えるような
保護者のサークルを作る

保護者や先生の
意見交換の場を設ける

保護者の不安や心配なこと
などを受け止めて対応していく